RIPPLE SAILING CLUB
NO.109

月刊 1991・10・15

RIPPLE

（発行）　500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

湘南カップ 裏話

ごめん今月Moreものです

来る20日に行われる第4回湘南カップを控へ、私を含めた運営スタッフは何だかんだと忙しさに追われリプルニュースも遅れがちです。
過去3回経験しているとはいえ、完全の状態でレースを楽しんでもらおうとすると、やはりてんてこ舞になるのは例年の通りである。
プログラムの作成、スポンサーへの挨拶、コンピューターへの打ち込み各クラブへの挨拶とここ何週間はこれにかかりっきりになり、忙しさに明け暮れていたかつてのサラリーマン時代を思い出させるのである。
また、届出だけでも電話で済むのもあれば、足を運び書類を提出し結果を待たなければ成らないものまである。

許可関係ではまず、皆の安全を考え第3管区海上保安部横須賀支部に企画書の提出に始まり、県土木管財課に砂浜使用及びテントを張る許可をもらい、ケーブル付設をしてあるNTTに北緯何度、東経何度内でアンカーを打ちますので宜しくと言うのや、お隣のIDCの本社総務部にアンカーの種類、重さ、形状、マークの大きさ等をお知らせし、アンカーで引っかけないようにと注意をもらったり、また嵐の事を考えパーティー会場の初声公民館の使用の許可をもらうため等の調整の日々が続くのであるが、一番厄介でまた偉そうにしているのが漁師である。

さんま、鮭、まぐろの豊漁とは関係の無いここ長井の漁協では、近年にない鰯の大不漁に見舞われ今年は何と8，000万円の大赤字をこき正会員から増資という名目で一律30万円を強制的に徴収したりして、漁師はピリピリなのである。
そんな中 ”レースをやりますので宜しく！！”なんて通知書及び願い届を持って行ったひにゃ、飛んで入ったる夏の虫！！。鴨がねぎしょって来たとばかりに、何とか銭（ゼニ）を巻き上げようとやって来るのである。
過去3回は何とか言い訳をして許して？貰ってはいたが今年は頑として違っていた。

最近はスポンサーの付いたメリットカップ、ジャパンカップ、インターナショナル50’、ニッポンカップとビックレースが目白押しのここ相模湾は、レースはおこぼれ的な銭になると言う暗黙の認識が出来つつあるようで、何とか銭を引き出そうとするテクニックはとこぶしを10倍くらい軽く採ってしまうような鮮やかさである。

また、昨今の金で済むなら済ましちゃおうという風潮をここ長井くんだりの田舎漁協まで浸透させてしまった、各ビックレースを取り仕切る企画会社は、言われるままにほいほいと何十万、何百万、メリットカップに関しては1，000万円をポーンと出してしまいある程度の相場みたいのを平気で創ってしまうのだ。
それは、彼らにしてみれば億単位の予算の中での%は低いものの、我々の様な手弁当で開催するレースとは訳が違うのであるが、ゼニをむしり盗ろうとする漁師には幾ら説明しても、”あんたら馬鹿じゃない”という位、頭が硬く困ってしまうのである。

そんな訳でこれを書き終えてからまたまた折衝に行くのであるが、何とか成功させたい第4回湘南カップ、結果は来月号になります。

RIPPLE号 出航準備 整ってます

真夏の最盛期に我がリプル号のエンジンが壊れ、業者の順番待ち等で約1カ月半乗れない状況が続いておりましたが、今月見事に生き返りました。
幸いな事に今年の週末は台風の異常発生及び接近で乗れる機会が少なかったため、会員さんにはそれほど多くの迷惑を掛けなかった事？がせめてもの慰めになります。
壊れた原因ですが一次的、及び二次的作用での故障です。
まず、一次的には過負荷回転によりヘッド周りにカーボン（厚いメッキをしたかの様に）が付着したことが考えられる。
二次的には、運転中は高温のため膨張していて吸排気弁に隙間がなかったが、停止と同時に温度が下がり弁に隙間が出来、圧が上がらず燃焼しなくなり、その状態でセルモーターを回し続けたためにインペラーより冷却水が供給され続け、ウオーターカットが満端になりやがては排気のダクトより燃焼室に海水が浸入してしまったための故障です。

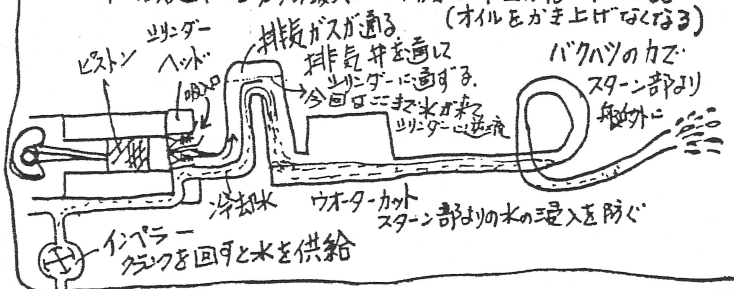
不幸中の幸いで我がリプル号の始動の仕方は、デコンプを引いてバランスウエイトに回転方向を与えてから燃焼させるという事をやっていたため、燃焼室に水が残らず壊滅的な故障には至りませんでした。

しかし、海水のためむくの鋼鉄に錆を発生させていて、分解し終えたエンジンは見るも無惨な状態でした。
そこで部分的な部品交換ではなく、ブロックごと交換という正にオーバーホールに近い形で修理を施しました。

そして、修理完了日、性能テストをしたくて正に土砂降りの雨の中、東京湾で走らせてみましたが、余りにも期待し過ぎた性もありちょっとがっくりの成績でした。まーよくよく考えてみれば直ったからと言って性能がアップした訳では無いのですね。
でも、冷却水周り、燃焼室周り、オイル周りは新品になりましたので、クルージングの際はいたわりながら、抜けるような秋空のもとでクルージングをお楽しみ下さい。

操船マニュアルの一部変更

- ＃ エンジン始動前と始動後のクランクハンドルでの回転は3回に変更。
- ＃ エンジン前部にある高圧部の燃料フィルターは、”オイルフィルター”に変更。（停止中の回転でも効果は余り変わらないとの事。）
- ＃ 航走中のセーリングの最大ヒール角度はY型は10° G型は30°（オイルをかき上げなくなる）



ちと早いけどスキーツアー募集致します

今年の異常気象で充分にヨットを満喫しないで、スキーのシーズンになっちぃましたね。
スキー野郎に転向してしまったセーラーは、TVのCMに映し出されるスキーの映像にわくわくしているのではないでしょうか。

そこでちと早い話であるが、我がスキーツアーを早めに募集致します。例年ですと年明けぐらいからの始動になりますが、よい部屋が空いていなくて、同じ料金でなんで？という気持ちを味わってきましたが、今年は8月の末に予約を入れよい部屋を確保致しました。

ある程度の融通がきき、人数、距離的な事を考慮に入れると昨年と同じ菅平大松山スキー場ということになりましょうか。
また、日程ですが3月の第1週目の金曜夜出発になりますので、有休なり休める状態に持って入って下さい。

リプル・カップは 11月10日 です。